

歴史—伝統(創業⇒百貨店誕生)

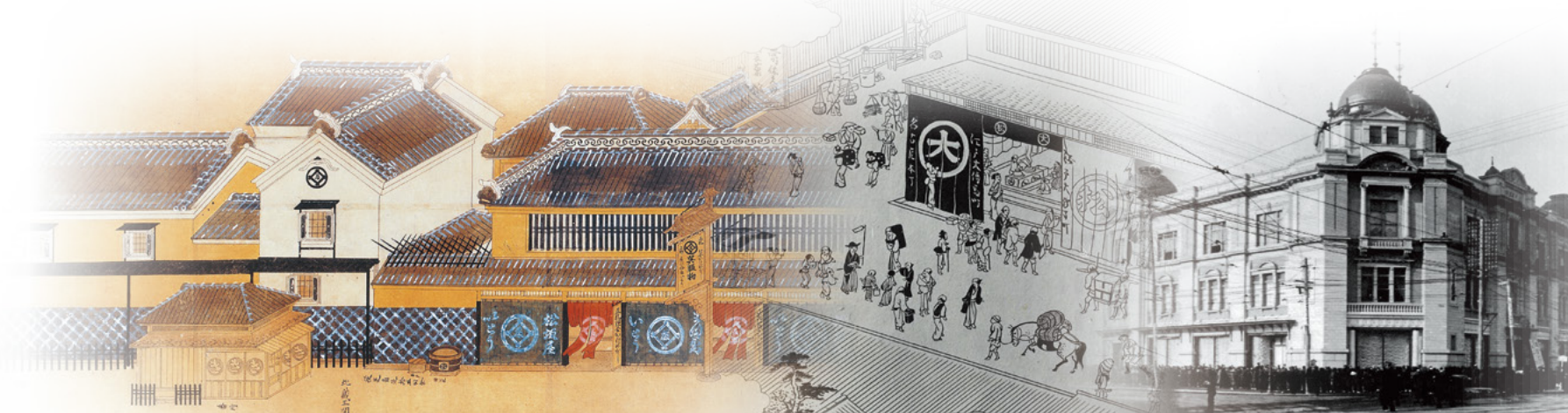
歴史がレジリエンスの証左になる

呉服屋、呉服小間物問屋として創業した大丸と松坂屋。

300年、400年という永い歴史の道程は決して平坦ではありませんでした。

いくつもの危機を乗り越えながら店舗拡張などを経て、100年前には百貨店へと業態転換。

変わらない価値観を持ちながら、時代の変化に対応し続けることで、まさに「サステナビリティ」を体現しています。



1717年(享保2年)

下村彦右衛門正啓が京都伏見に
呉服屋「大文字屋」を開業(大丸創業)

1700-

1726年(享保11年)
大阪心斎橋筋に大阪店「松屋」を開き、
現金正札販売を始める(心斎橋店現在地)

1728年(享保13年)
名古屋本町4丁目に名古屋店を開き、初めて「大丸屋」
を称する(明治43年閉鎖)

1737年(元文2年)
店は「先義後利」の掛軸を全店に配布
京都・東洞院船屋町に京都総本店が新築完成

1743年(寛保3年)
江戸大伝馬町3丁目に江戸店開業(明治43年閉鎖)

1757年(宝暦7年)
江戸深川木場4丁目繁栄橋畔に木場別荘を
作り、一郭に繁栄稲荷を祀る(コアビルに現存)

1787年(天明7年)
江戸店が呉服商として売上日本一に

1800-

1837年(天保8年)
大塩の乱起こる
「大丸は義商なり、犯すなかれ」
と、焼き討ちを免れる

1900-

1907年(明治40年)
資本金50万円で
「株式会社合資会社大丸呉服店」を設立

1908年(明治41年)
神戸元町4丁目に神戸出張所を新築開店

1912年(明治45年)
京都店が四条通りに鉄筋木造3階建の
新店舗開店(現在地)、デパート形式をとる

1913年(大正2年)
商標を改め登録

1920年(大正9年)
資本金1,200万円で
「(株)大丸呉服店」設立

1922年(大正11年)
デパート業界で初めての週休制を実施

1927年(昭和2年)
大阪店(現心斎橋店)にデパート業界初の
「染色試験室・衛生試験室」(現消費科学
研究所)を開設

1928年(昭和3年)
商号を「(株)大丸」に改める

1953年(昭和28年)
クリスチャン・ディオールと独占契約を結ぶ
海外デザイナーとの提携は日本で初めて

1959年(昭和34年)
オリジナル紳士服「トロージャン」誕生

1961年(昭和36年)
日本の小売業界売上NO.1を達成(1960年
下期から1968年下期まで連続)

1964年(昭和39年)
ジバンシィと独占契約を結ぶ

1983年(昭和58年)
大阪ターミナルビル「アクティ大阪」に梅田
店開店、新CI導入、新しいマークを制定

1997年(平成9年)
神戸店(1995年阪神・淡路大震災で被災)
が復興グランドオープン

1999年(平成11年)
経営改革(営業改革・外商改革)を
本格スタート(翌年人事改革・後方部門
改革をスタート)

2000-

2003年(平成15年)
札幌店オープン

2007年(平成19年)
(株)松坂屋ホールディングスと経営統合
持株会社「J. フロントリテイリング(株)」を
設立



1611年(慶長16年)

伊藤蘭丸祐道が名古屋本町に
呉服小間物問屋を創業

1600-

1659年(万治2年)
名古屋茶屋町に呉服小間物問屋を開業

1700-

1736年(元文元年)
呉服太物小売商に転業

1740年(元文5年)
尾張藩の呉服御用となる

1745年(延享2年)
京都室町錦小路に仕入店を開設

1768年(明和5年)
上野の松坂屋を買収、「いとう松坂屋」と改め、江戸へ進出

1800-

1805年(文化2年)
江戸大伝馬町に木綿問屋亀店
を開業

1868年(慶応4年)
上野店、上野戦争で官軍の本
堂となる

1875年(明治8年)
ゑびす屋呉服店を買収、大阪
へ進出

1881年(明治14年)
名古屋茶屋町角に
伊藤銀行(旧東海銀行のルー
ツ)を開業

1900-

1907年(明治40年)
上野店を「合資会社松坂屋いとう呉服店」
に改組

1910年(明治43年)
「(株)いとう呉服店」を設立(資本金50万
円)、名古屋・栄町に百貨店を開業

1917年(大正6年)
上野店新本館完成

1923年(大正12年)
大阪店(日本橋筋)再開
(66年天満橋に移転、04年閉店)

1924年(大正13年)
銀座店開店

1957年(昭和32年)
カトレヤをシンボルフラワーに制定

1972年(昭和47年)
名古屋店北館を増築

1991年(平成3年)
名古屋店南館を増築し、「松坂屋美術館」を
開設

2000-

2003年(平成15年)
名古屋店新南館増築で
日本最大級の百貨店に

2006年(平成18年)
持株会社「(株)松坂屋ホールディングス」を
設立

2007年(平成19年)
(株)大丸と経営統合
持株会社「J. フロントリテイリング(株)」を
設立

歴史—革新(再編⇒ポートフォリオ変革)

融合で、新たな価値を創る

時代変化のスピードは加速の一途。

1990年代のバブル崩壊を機に景色は急変し、業界再編は待ったなしの状況となりました。

そうしたなか、大丸と松坂屋ホールディングスは両社の強みを拡張し、再成長を目指した経営統合を実行。

さらにリテールのウイング拡大に向け、パルコを2012年に連結子会社化し、2020年には完全子会社化を実現。

異質な文化の本格融合が、まさに今、進んでいます。

2007

年(平成19年)



J. FRONT RETAILING

(株)大丸と(株)松坂屋ホールディングスが
経営統合、J.フロント リテイリング(株)を設立



事業統合・再編期

基盤構築期

事業構造変革期

ポートフォリオ変革推進期

変革期

2007▶2013

2007年(平成19年)
大丸東京店を第1期移転増床

2008年(平成20年)
(株)大丸クレジットサービスが
JFRカード(株)に社名変更
(株)大丸装工と(株)大丸木工、松坂屋誠工(株)、
日本リファクス(株)が合併し、
(株)J.フロント建装が誕生
(株)ディンプルが
(株)大丸セールスアソシエーツを吸収合併
(株)大丸と(株)松坂屋の情報システムを統合

2009年(平成21年)
(株)レストランピーコックが松栄食品(株)を
吸収合併し、(株)J.フロントフーズが誕生
松坂サービス(株)が
(株)JFRサービスに社名変更
「大丸心齋橋店北館」を開業
(株)JFRサービスが
(株)大丸リース&サービスを吸収合併

2010年(平成22年)
(株)大丸と(株)松坂屋が合併し、
(株)大丸松坂屋百貨店が誕生
(株)J.フロント建装が(株)DHJを吸収合併
(株)大丸友の会が(株)マツザカヤ友の会を
吸収合併し、(株)大丸松坂屋友の会が誕生

2011年(平成23年)
松坂屋コレクション「慶長小袖」が重要文化財の
指定を受ける
大丸梅田店増床オープン

2012年(平成24年)
(株)パルコ株式33.2%を取得し、
持分法適用関連会社化
上海新南東項目管理有限公司および
上海新世界股份有限公司の2社と、
中国上海市黄浦区での
百貨店新設・運営において、当社が
技術支援・協力することについて基本合意
(株)スタイリングライフ・ホールディングスとの
共同出資により、JFR PLAZA Inc.を設立
(株)パルコ株式を公開買付けにより65%まで
追加取得し連結子会社化

PARCO

(株)ディンプルを会社分割し、
(株)大丸松坂屋セールスアソシエーツを設立
大丸東京店を第II期増床

2013年(平成25年)
スーパーマーケット事業の(株)ピーコックストア
全株式をイオン(株)に売却
フォーレスト(株)株式70.52%を取得し、
連結子会社化

2014年(平成26年)
「2014-2016年度 中期経営計画」スタート
楽天Rポイントカードとの提携開始
「福岡PARCO」の新館開業
クールジャパン機構へ出資

2015年(平成27年)
福岡PARCO本館を増床
「名古屋PARCO midi」を開業
(株)千趣会株式22.6%を取得し
持分法適用関連会社化
上海新世界大丸百貨を開業
大丸心齋橋店 本館の建替えを決定
スクラムベンチャーズへ出資

2016年(平成28年)
渋谷PARCOの建替えを決定
松坂屋名古屋店北館「GENTA」誕生
「仙台PARCO 2」を開業
「大丸京都店 祇園町家」をオープン

2017年(平成29年)
「2017-2021年度 中期経営計画」スタート
国際会計基準(IFRS)を任意適用
(株)JFRオンラインを事業譲渡
「GINZA SIX」を開業
指名委員会等設置会社へ移行
フォーレスト(株)株式を譲渡
「上野フロンティアタワー」、「PARCO_ya上野」
を開業
JFR PLAZA Inc.解散・清算

2018年(平成30年)
(株)千趣会が実施する自己株式取得に応諾

2019年(平成31年／令和元年)
「錦糸町PARCO」を開業
「サンエー浦添西海岸パルコシティ」を開業
大丸心齋橋店 新本館を開業
新生「渋谷PARCO」を開業
(株)パルコの完全子会社化に向けたTOB開始

2020年(令和2年)
(株)大丸松坂屋百貨店が
(株)下関大丸を吸収合併し、直営店化
(株)パルコを完全子会社化
中期経営計画を終了、
「2021-2023年度中期経営計画」策定に着手
(株)大丸松坂屋百貨店の不動産事業を
(株)パルコに移管
心齋橋店北館に「心齋橋PARCO」を開業

2021▶2023

2021年(令和3年)
(株)J.フロントフーズの全株式を譲渡
「2021-2023年度中期経営計画」スタート
(株)ヌーヴ・エイの全株式を譲渡
(株)大丸松坂屋百貨店が
(株)大丸松坂屋セールスアソシエーツを
吸収合併
2022年(令和4年)
(株)ディンプルの株式の一部を譲渡
イグニッション・ポイントベンチャーパートナーズ(株)
と共同で、CVCファンド「JFR MIRAI
CREATORS Fund」を設立
(株)XENOXの株式50.8%を取得、子会社化

2023年(令和5年)
J.フロント都市開発(株)を設立
(株)フィナンシェに出資
(株)大丸松坂屋百貨店がタイのセントラルグ
ループ・Central Pattana Public Company
Limitedと業務提携契約を締結
(株)スタイリングライフ・ホールディングスを
持分法適用関連会社から除外

2024▶2026

2024年(令和6年)
「2024-2026年度 中期経営計画」スタート
事業承継ファンド「Pride Fund」を
(株)日本政策投資銀行および
イグニッション・ポイント ベンチャーパートナーズ
(株)と設立(4月)
WealthPark(株)と包括的業務提携(4月)
(株)大丸松坂屋百貨店が
大丸心齋橋店南館を保有する
(株)心齋橋共同センタービルディングの株式を
取得し、連結子会社化(7月)
大丸梅田店の大規模リニューアルを決定(10月)

2025年(令和7年)
J.フロント都市開発(株)が心齋橋ビルを
取得する特定目的会社へ出資(1月)
(株)コメ兵と(株)JFR & KOMEHYO
PARTNERSを設立し、リユース事業に参入(3月)
上海新丸商業運営有限公司との事業提携を終了
(12月)

2026年(令和8年)
J.フロント都市開発(株)が神戸旧居留地25番館
の取得を決定(1月)
(株)J.フロント建装と
(株)パルコスペースシステムズが合併し、
(株)J.フロントプライムスペースが誕生(3月)
J.フロント都市開発(株)がヒューリックみなとみらい
を取得する特別目的会社へ出資(3月)
「クオーツ心齋橋」を開業(4月～秋)
「ザ・ランドマーク名古屋栄」、「HAERA」を開業
(6月)

